

Injury Alert (傷害速報)類似事例

ヘアアイロンによる足熱傷 (No.118 ヘアアイロンによる手指熱傷の類似事例 1)

事例	基本情報	年齢：1 歳 1 か月 性別：男児 体重：10.2kg 身長：不明
	家族構成	父、母、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		右足浅達性Ⅱ度熱傷
医 療 費		外来 37,110 円
原因 対 象	対象名称	ヘアアイロン
	入手経路 使用状況	インターネットにて新品を購入、入手時期・使用頻度不明
発 生 状 況	発生場所	自宅の脱衣所
	周囲の人 周囲の環境	母親が本児の隣でドライヤーを使って髪を乾かしていた
	発生年月日	2021 年 11 月 X 日 (土) 午後 10 時頃
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	2021 年 11 月 X 日午後 10 時頃、母がヘアアイロン(図 1-2)の電源を切るのを忘れたまま、脱衣所内の洗面台の横にあるフック(30-40cm 程度の高さ)にかけていた。ヘアアイロンのコンセントがついたマルチタップのスイッチは消していた。母はドライヤーで自身の髪を乾かすために、再度マルチタップのスイッチを入れた。そのとき、本児がヘアアイロンを触っていることに母は気づいていたが、ヘアアイロンの電源は切れていると思って注意を払わなかった。20 秒程度経ち、本児が啼泣したため母が見ると、本児の右足の内側に水疱ができていた。流水で 5-10 分程度冷やしてから医療機関を受診した。
医療機関受診時 以降の治療経過 転帰		診察上、右足内側に 4cm 径(<1%)の浅達性Ⅱ度熱傷を認めた(図 3-4)。湿潤療法を継続し外来経過観察の方針とした。経過中、感染徴候はなく、徐々に上皮化が進み受傷 20 日目に経過観察終了とした。
キーワード		ヘアアイロン、熱傷



図 1 ヘアアイロンの高温となる部分

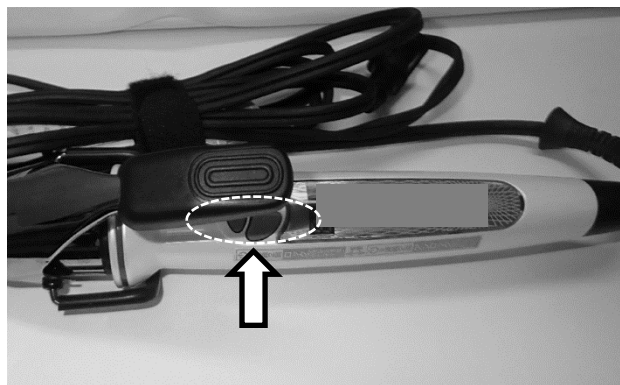


図 2 ヘアアイロンの操作部分及びグリップ
矢印部分に電源と温度調節ボタンがある。

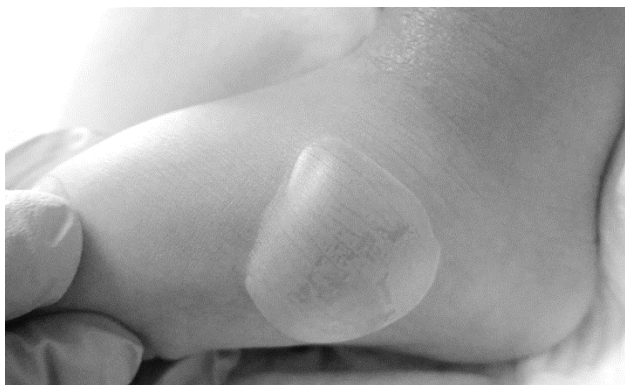


図 3 水疱形成された熱傷部位(右足内側)



図 4 水疱被膜を除去し洗浄後